

---

# 見るが六代目

松山まい

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

見るが六代目

### 【Zコード】

Z8980

### 【作者名】

松山まい

### 【あらすじ】

時代は室町。

ひょうたんと大袋をお供に、男が一人の人物を捜す。

ちょうどその頃、身体能力、ロクシキ（眼耳鼻舌身意）に特化した一族が現れる。

……その、「目」を巡る、物語。

## プロローグ

「みむるまめたらう?」

「おうおう。そいつがちつとも見当たりやしねえ」

「そりゃなあ……午鹿にでも行つたんじやないのかい」

「へえ、そんなことほやじてやがつたのか」

「いや店から出て右を行きよつたから」

「午鹿にねえ……」

男はしばらく考えを巡らせていたが、口を横に伸ばし笑うと、景

氣良く声を響かせた。

「はんっ、行つてやうひじやないの!」

「お密せん、氣をつけなさつてね」

濁る言葉に柔らかく微笑んで。

「おう、あんがとさん。すっかり邪魔しちまつた」

手には大袋、腰には瓢箪。足取りは揚々、右へ折れる。

向かうが先は午鹿。

山間の商売人達が憩う場として賑わう温泉街である。

「勘弁するさんはあなたの方を、視無六田様」

## プロローグ（後書き）

最後まで書き上げられるかわかりませんが、亀並更新でのろのろがんばつてこいつと想いますので、どうぞ宜しくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8980/>

---

見るが六代目

2010年10月14日18時29分発行